

令和 6 年度事業総括

平素は特定非営利活動法人またあしたの運営にご協力いただきありがとうございます。
令和 6 年度の決算及び事業運営概要、次年度以降の課題等について報告します。

通所各事業所のご利用総数の推移は以下のようになっています。

	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
栗東事業所	2246 人	1846 人	2319 人	2,088 人	2,073 人
伊勢事業所	6130 人	5967 人	5024 人	5,057 人	4,714 人
みそら事業所	5599 人	4491 人	4279 人	5,115 人	4,715 人
通所計	13975 人	12304 人	11622 人	12,260 人	11,502 人
居宅（売上高）	722 万円	927 万円	914 万円	1,435 万円	2,008 万円

令和 6 年度決算について

売上高	149,683 千円 【 対 5 年度比 (104%) 】
事業費	151,238 千円 【 対 5 年度比 (103%) 】
（内人件費	110,130 千円 【 対 5 年度比 (99%) 】
	【事業費対人件費 (73%)】
	【5 年度対人件費率 (75%)】
	【4 年度対人件費率 (73%)】
	【3 年度対人件費率 (73%)】
	【2 年度対人件費率 (73%)】
	【1 年度対人件費率 (74%)】

注：対人件費率適正 65%

期末経常損失	－1,794 千円 【比較できず】
前期期末経常損失	－2,767 千円

支払法人・地方税	172,409 円
当期純損失	－1,966,663 円

以上のような決算内容となっております。

注：令和 5 年度と比較する 758 人のご利用者様の減少

注：ご利用人数が減少したのに、売上高が令和 5 年度と比較し増加しているのは？

- ①令和 5 年の報酬改定のおかげ
- ②食材費値上げのおかげ
- ③個別機能訓練の開始のおかげ

注：令和 5 年度と同程度のご利用者数を獲得していれば、800 万前後の収益を得ることが出来たはず。

仮定の話だけど

仮に、この内 80%を賞与支給に充てると、常勤一人当たり令和 6 年度支給に対し 40 万円上乘せ支給が可能だった。

利用者様を失ったことで、一人当たり 40 万円の所得を喪失した。

結論

令和 4 年度、過去最低の決算内容で 700 万を超える赤字を出した年
令和 6 年度はこの年の総利用人数の 11,622 名より

120 名も少ない

11,502 名しかご利用いただけなかった。

その事実を私たちは直視すべきです。

またあしたには 68 名のスタッフが在席し運営しています。

それぞれの生き方の中で、またあしたがどのように位置づけられているのかは正直分かりません、それでも、スタッフにとって、より良い職場環境の提供と、ご利用者様・ご家族様・また関係事業者様にとって必要なサービスであろうと運営として努力を続けてきました。その結果として、今の非常に厳しい運営状況に直面しています。

ぎりぎりです。

複数年にわたり個人的な補填を継続してきましたが、それも底が見えてきています。

またこの、4 月 5 月の売り上げも昨年度と比較して増加しておらず横ばいです。

では、どうすべきか。私たちが考えるべき事は

またあしたはスタッフの皆さんの生活の糧を得る場所であるという事

またあしたはご利用者様にとって役割が生まれるかもしれない場所であるという事

またあしたはスタッフの自由な意志によってサービスを決定できる現場であるという事

またあしたは家族さんにとって、『自身を少しでも楽にしてくれる可能性があるサービスを提供してくれる事業者として評価することができる』場所となれるかもしれないという事

またあしたは、そのスタッフが医療・介護のプロとして素晴らしいサービスを提供できる事業者・スタッフとなれるかもしれない場所であるという事

またあしたは介護支援専門員や他の事業者が、使いたくなる、あるいは真似をしたくなるような、楽しくて、ためになり、利用者様は皆、笑顔で、生き生きとしている、そんな可能性がある場所になれるかもしれないという事

そして、これらの内、私たちは何一つ実現することが出来ていないという事実

では実現するために、一番に考えなければならない最も大切なことは、

『またあした』はスタッフの皆さんの生活の糧を得る場所であるという事です。

ただし、この糧は誰かが与えてくれる訳ではありません、自分たちで創意し工夫し信頼を積み重ねる努力をし、頭を使い様々なニーズを探り、プロとして、ご利用者様にとって本当に必要なサービスを見極め、様々な関係者の利益の調整をし、時には本音を覆い隠し権謀術数を張り巡らし、ケアマネを手玉に取り、

その結果、

『またあした』は、楽しい、元気になる、信頼できる、見たことのない表情を呼び起こしてくれる。そんな評価が、お客様をよび集め、多くの方々にご利用いただき、その結果、より多くの富を得、その再分配をスタッフの皆さんに行う事が出来ます。

あなたも

あなたも

そこのあなたも

みんな年を取ります。

そして
出来ないことが多くなり
人としての役割が終わったように感じます。

本当にそれでいいのでしょうか

嫌です

最後の最後まで輝いていたい
自分らしくありたい

そう願うことは無理なのですか？

年を取り道に迷い立ち止まり困り果てる一人の老人

自然と手を差し伸べ
何が必要で何が提供できるのか
そんなことがごく当たり前に考えることが出来る
そんな介護の現場を作りたいと
懸命に『またあした』を運営しています。

1人では何もできません

介護の仕事を面白くしたいと願う医療・介護のプロである
『またあした』のスタッフの皆さんと
最後の最後まで輝ける場所を作り維持し
その結果、私たちは適正な生活の糧を得て
ご利用者様も・私たちも、
それぞれが生きている全ての時間
いろいろあっても
楽しかったなあ
と、思い返すことが出来るような
そんな『またあした』の運営を
何とか維持したい
心からそう願っています。
みなさんの力を貸してください。

次に、介護保険における適正運営について重ねて確認の実行をお願いします。

適正な運営が行われているのか、また法令が遵守されているのか、もう一度各事業所での適正運営を実施する事を強く求めます。

通所事業所については、介護計画書が作成されているのか、あるいは適正な間隔で見直しを行っているか、また各種加算を算定する要件は満たしているのか。居宅支援事業所では、サービス変更の場合の担当者会議の開催や経過記録の記載など、必要な業務を適正に行っているのか、常に意識して業務を行うことを求めます。

介護保険の制度上求められている要件を満たさなければ、いくら質の良いサービスを提供したとしても、それは認められず事業としては全く意味がありません。

全てのスタッフが、同じレベルのプロとしての意識を持ち、介護保険の制度上必要な業務を遅滞なく実施する事を求めます。

特定非営利活動法人またあした

理事長 齊藤 利和